

(別紙) プログラム

※ 以下の内容（講演者）は変更される場合があります。

2022年12月12日（米国は12月11-12日）			
開会			
蘭仏時間	米国中部時間	日本時間	
6:00-6:20	23:00-23:20	14:00-14:20	主催者挨拶 ・農研機構理事長 久間和生 挨拶 ・オランダワールヘニンゲン大学研究センター（WUR） ヘイモヴァーラ 総長 ・フランス国立農業研究所（INRAE） モーガン理事長 ・農林水産省農林水産技術会議事務局 川合豊彦 事務局長
基調講演			
6:20-6:40	23:20-23:40	14:20-14:40	1. <u>FAO</u> Maximo Torero Cullen チーフ・エコノミスト 世界食料安全保障と栄養—政策的視点からの食料安定供給システムの現状と課題
6:40-7:00	23:40-0:00	14:40-15:00	2. <u>欧州委員会（EC）</u> LOPEZ BLANCO Ana Patricia 農業総局研究プログラム担当 持続可能な食料生産と健康的な食事の安定供給を優先課題とするECの研究とイノベーション
休憩 10分			
講演			
セッションI データを最大限活用し生産と環境を両立する食料生産システム セッションリーダー：矢野昌裕（農研機構 シニアエグゼクティブリサーチャー）			
7:10-7:25	0:10-0:25	15:10-15:25	【講演】 1. <u>農研機構（日）</u> 村上則幸（農業情報研究センター 副センター長） NAROが進めるスマート農業—ICT、ロボティクス、AI技術
7:25-7:40	0:25-0:40	15:25-15:40	2. <u>WUR（蘭）</u> Rick van de Zedde（プロジェクトマネージャー） 植物表現型計測技術の採用と気候変動対応にむけた探求
7:40-7:55	0:40-0:55	15:40-15:55	3. <u>農研機構（日）</u> 石本政男（作物研究部門 所長） データ駆動型プラットフォームにより作物育種を選抜ではなく設計に革新する
7:55-8:10	0:55-1:10	15:55-16:10	4. <u>INRAE（仏）</u> Véronique Bellon-Maurel（Mathnum 部門 副代表） デジタル化と農業生態学で共創する持続可能で頑強なフードシステムをデザインする：INRIA-INRAE 白書「農業とデジタル化」より
8:10-8:35	1:10-1:35	16:10-16:35	【討論】 最先端技術による生産性と環境保全を両立する食料生産システムへの変革

8:35-8:55	1:35-1:55	16:35-16:55	<p>【ピッチ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>NTT アグリテクノロジー（日）</u>：スマート生産技術によるみどり戦略の推進 2. <u>PRIVA（蘭）</u>：施設の環境計測と制御によるスマート施設園芸 3. <u>温暖化緩和策の国際プロジェクト</u>：農地からの温室効果ガス発生緩和のためのアジアにおける研究ネットワーク 4. <u>PISI ネット</u>：生物機能の開拓・利用のための植物—昆虫—微生物間相互作用の国際研究ネットワーク
休憩 15分			
<p>セッション II 健康な食を供給する持続的フードシステムの構築</p> <p>セッションリーダー：後藤一寿（農研機構 NARO 開発戦略センター・オランダ研究拠点駐在員）</p>			
9:10-9:25	2:10-2:25	17:10-17:25	<p>【講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>WUR（蘭） Ingeborg de Wolf（元 畜産環境部長）</u> グローバルワンヘルスとプラネタリーヘルスが、持続可能なアグリフードシステムにどのように貢献するか
9:25-9:40	2:25-2:40	17:25-17:40	<ol style="list-style-type: none"> 2. <u>農研機構（日） 小堀真珠子（食品研究部門 食品機能研究領域長）</u> おいしくて健康によい、新たな日本型食生活の実現にむけて
9:40-9:55	2:40-2:55	17:40-17:55	<ol style="list-style-type: none"> 3. <u>Thünen 研究所（独） Felicitas Schneider（市場分析研究所）</u> 食品ロスと食品廃棄物削減に向けた世界的取り組み
9:55-10:10	2:55-3:10	17:55-18:10	<ol style="list-style-type: none"> 4. <u>ヤクルト（日） 長南 治（中央研究所 上席研究員）</u> 創業の精神と経営理念に立ち返り持続可能な社会の実現を目指す
10:10-10:35	3:10-3:35	18:10-18:35	<p>【討論】</p> <p>人々に真に健康的な食事をいつでも提供できる持続的なフードシステムの構築のために</p>
10:35-10:55	3:35-3:55	18:35-18:55	<p>【ピッチ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>Periodic Table of Food Initiative</u>：国際イニシアティブによる食品成分DBの網羅的解析 2. <u>カゴメ（日）</u>：野菜不足をいかに認識してもらうか - 野菜商品を作る日本企業の使命と誇り- 3. <u>Global Foodture</u>：イノベーションとコラボレーションによる持続的なフードシステムへの変革 4. <u>Foundation for Food Agriculture Research（米）</u>：現在のフードシステムの課題に取り組む革新的科学をサポートするための連携構築
閉会			
10:55-11:00	3:55-4:00	18:55-19:00	<p>閉会挨拶（総括）</p> <p>勝田眞澄（農研機構 理事）</p>
閉会			